

NIMS一般公開2026 見学モデルプラン

プラン名と説明	地区	出展ラボタイトル	番号
「社会と安全を支える材料研究」を知るコース 1 巨大インフラから次世代電子デバイスまで。社会の発展と安全を支え、持続可能な未来に実装する材料研究を知ろう。	千現	ギネス世界記録！発電プラント材料を見守り続けるクリーブ試験	14-2
	千現	金属材料の疲労～事故調査の舞台裏～	14-1
	千現	鉄鋼材料の腐食寿命予測への挑戦	16-5
	千現	磁力が未来を引き寄せる！“ナノ磁石”が支えるデジタル社会	1-5
	千現	新合金で巨大地震に備える超高層ビル用制振ダンパー	16-1
	千現	サビに強く、きれいが長持ちする金属表面 — 工業・建築・医療を支える表面改質技術 —	16-2
	並木	活躍する電子セラミックス	9-1
	並木	資源循環と環境材料の新展開	9-4
	並木	宝石だけじゃない！くらしを支える単結晶	9-2
「電池・エネルギー材料研究」を知るコース 2 低炭素社会を支える基盤技術：水素利用から熱エネルギー損失の低減、革新的蓄電プロセスの開発まで、研究の最前線をその目で見てみよう。	千現	極低温/水素環境下での材料特性評価	10-1
	千現	CO ₂ を減らす！高温に強い超合金	2-1
	並木	未来につながるペロブスカイト太陽電池	16-2
	並木	NIMS発・蓄電池革新公開	16-1
	並木	人類最大の未利用エネルギーから熱電発電	16-3
	並木	受動的に冷える放射冷却	21-9
	桜	高効率な磁気冷凍による水素液化	3-2
	桜	水素社会を支える液体水素極低温材料試験施設	6-1
「材料の創製とものづくりの研究」を知るコース 3 航空機部材の鍛造・積層から、蓄電池やナノ加工まで。巨大設備と精密技術の両輪で、極限環境を駆使しながら次世代を担う新材料を創製する現場を巡ってみよう。	千現	航空機エンジン部品を作る3次元積層造形	6-2
	千現	1500トン鍛造シミュレーターで挑む航空機部材加工	5-1
	千現	金属を溶かして鍛える材料創製設備公開	6-1
	千現	不思議な氷を作ろう	1-4
	千現	超伝導と低温の世界—新超伝導物質の研究	1-1
	並木	超高压合成3万トンプレスの紹介	20-1
	並木	電気化学スマートラボによる蓄電池開発	16-4
	並木	収束イオンビームによる微細加工最前線	17-1
	桜	とても低い温度とても強い磁場	2-1
「材料を多角的に分析する技術」を知るコース 4 原子や水素の挙動、磁石の超高速な動きまで。NIMSならではの世界最高水準の顕微鏡や光電子分光技術を駆使し、物質の正体を多角的に解き明かす「分析・評価」の最前線を見てみよう。	千現	NIMSの限界突破を支える材料分析最前線	2-2
	千現	超高速な磁石の動きを観察する最先端技術！	1-2
	千現	原子の立体地図を見る！	1-6
	千現	水素の透過が見える顕微鏡	9-1
	千現	ナノスケールの硬さを知る	16-3
	並木	物質・材料を多角的に分析して、世界を変える！	8-2 21-8
	桜	強磁場を駆使したマテリアル研究	2-2
	桜	ナノ材料を探る光電子分光の最前線	3-1
「分子・バイオ材料研究」を知るコース 5 分子マシンの設計から人工筋肉、生体組織の再生を支える足場材料まで。分子レベルで機能をデザインし、生命科学と材料工学を融合させる最新の研究現場に潜入してみよう。	千現	分子マシン創成の現場 設計から機能まで	12-1
	千現	人工筋肉	1-3
	千現	分子クローバーを動かそう！	9-2
	千現	バイオ系大型顕微鏡が支える材料開発	15-1
	並木	光って電気をためる“やわらか液体分子デバイス”	8-1
	並木	限界突破を目指す高分子	21-3
	並木	生体組織の再生を支える足場材料	21-4
	並木	液体の表面で細胞を育てる	16-5
「次世代半導体・センサ・デバイス材料研究」を知るコース 6 量子計算や人工知能、超高感度センサの核となる新材料。ダイヤモンドや原子積層技術を駆使し、情報処理の限界を突破する次世代デバイス開発の最前線を巡ってみよう。	千現	夢は10,000%“TMR”技術で未来を切り開く！	15-2
	並木	ダイヤモンドのトランジスタ	21-2
	並木	脳神経細胞をマネする人工知能素子	21-6
	並木	量子コンピュータの材料開発	4-1
	並木	原子を積み重ねて作る新材料	21-1
	並木	ニオイを嗅ぐ・視る・測る ～ニオイの科学を体験しよう～	2-1
	並木	たった一つのウイルスや分子を検知できるセンサー	21-7
	並木	ダイヤモンドで量子・電子を制御する	9-3
	並木	意外と簡単！半導体ナノ構造製造技術	21-5

NIMS広報室スタッフが厳選した“とっておきの見どころ”を、見学モデルコースとしてご紹介しています。気になるコースをそのまま巡るもよし、自由に組み合わせて自分だけのルートを作るもよし！

掲載順はあえて順不同。マップを片手に、「どこから回ろう？」と考える時間も、楽しみのひとつです。

あなただけの発見と出会いとともに、一般公開2026をぜひ存分にお楽しみください。